

**時刻・カレンダーの合わせかた**

(1) ボタンの名称とはたらき  
 ・ボタンAを押して「時刻・カレンダーモード」状態にしてください。  
 ・他のモードになっている場合は、一度ボタンAを押して、メニュー表示にしてからボタンAを押して「時刻・カレンダーモード」状態にしてください。



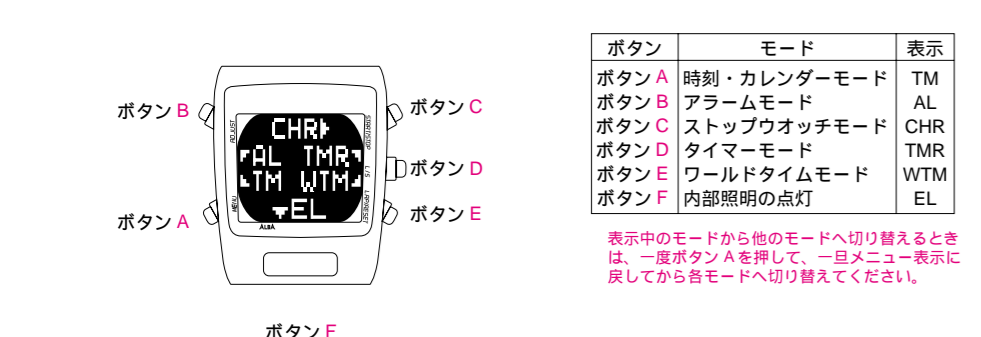
ボタンEを1回押すと、「曜日」表示から「都市名」(現在設定されている都市名)表示に替わりスクロール(右から左へ)表示し、また、もの「曜日」表示に戻ります。

(2) 時刻・カレンダーの合わせかた  
 ボタンBを2~3秒押し続けると、「ADJUST」が点滅し「時刻・カレンダー合わせ」状態になります。  
 ボタンDを1回押すごとに合わせたいところ(点滅部)を選ぶことができます。  
 ※年月日をセットすると「曜日」は自動的に設定されます。

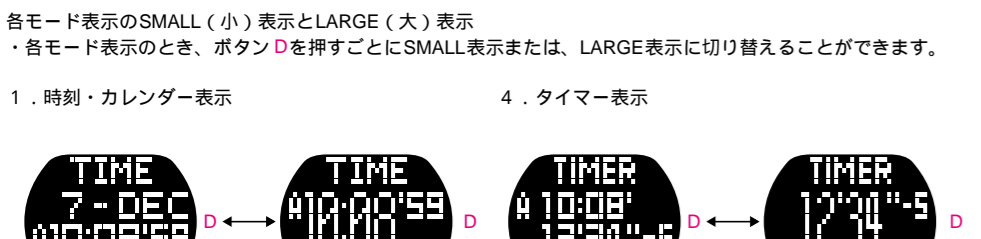


ボタンDを押して「秒」点滅状態にし、時報と同時にボタンCまたはボタンEを押すと「00」に合います。  
 秒表示が30~59秒とき、ボタンCまたはボタンEを押すと1分繰り上がった「00」に合います。  
 時刻合わせは、電話の時報サービス(TEL117)が便利です。  
 合わせたいところを選択したあと、ボタンCを1回押すごとに点滅している数字・都市名および月が1つずつ進みます。(反対に、ボタンEを押すごとに1つずつ戻ります。  
 (「秒」/「12/24h」/「D.S.T.」を除く。)

ボタンCまたはボタンEを押し続けると、早送りできます。  
 「時刻・カレンダー合わせ」が終わりましたら、ボタンBを1回押して「時刻・カレンダーモード」に戻してください。押し忘れた場合でも2~3分後には「時刻・カレンダー」表示、自動的に戻ります。



カレンダーは1998年から2047年までの年・月・日・曜がプログラムされていますので、この期、月の大小や、うるう年でも修正する必要はありません。  
 時刻修正の途中から「全点灯表示」になるのは、危険ではありません。ボタンCとボタンDが同時に押された状態です。その場合は、A B C D E 何れいづれか1つのボタンを押して、「時刻・カレンダーモード」に戻ってください。  
 ※つまみあてで、上記の から合わせ直してください。



(3) アラーム音の試し聴き(サウンドデモンストレーション)と報時ならば操作確認音のセットと解除  
 「時刻・カレンダーモード」でボタンCを押すごとに、報時・操作確認音のセットと解除ができます。また、ボタンCとDを同時に押し続けると「アラーム音の試し聴き」ができます。



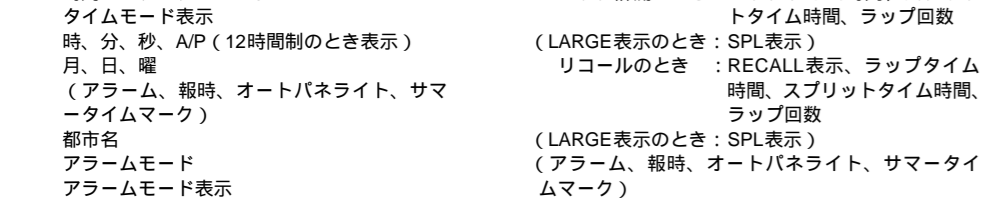
報時します。 報時しません。 報時マーク点灯 報時マーク消灯

(4) オートバネライトのセットと解除  
 ボタンFを2~3秒押し続けるとオートバネライトのセット(≡マーク点灯)と解除(≡マーク消灯)ができます。  
 オートバネライトのセット後、約11~12時間後に自動的に解除されます。



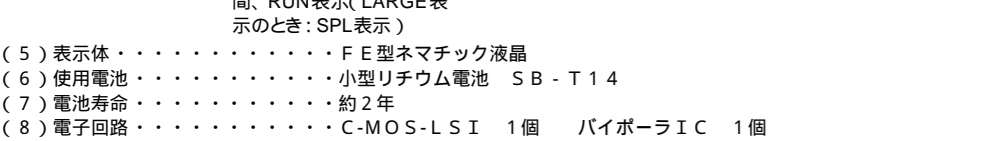
ボタンFを2~3秒押し続けると「ADJUST」が点滅した後、「時」が点滅表示し「タイマー合わせ状態」になります。

(3) フリータイマーの合わせかた  
 ・フリータイマーは、1分から9時間59分までの1分単位で合わせることができます。  
 ・ボタンEを押してフリータイマー表示にしてください。



ボタンBを2~3秒押し続けると「ADJUST」が点滅した後、「時」が点滅表示し「タイマー合わせ状態」になります。

(3) フリータイマーの合わせかた  
 ・フリータイマーは、1分から9時間59分までの1分単位で合わせることができます。  
 ・ボタンEを押してフリータイマー表示にしてください。



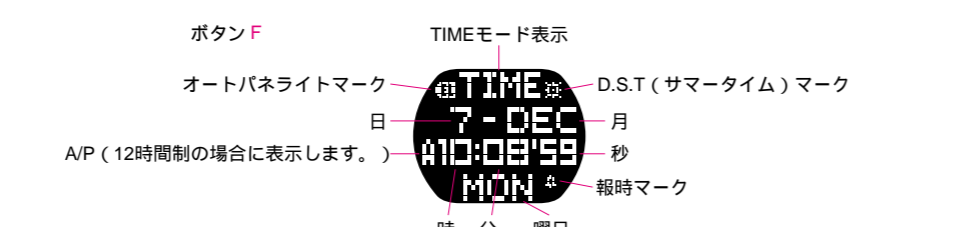
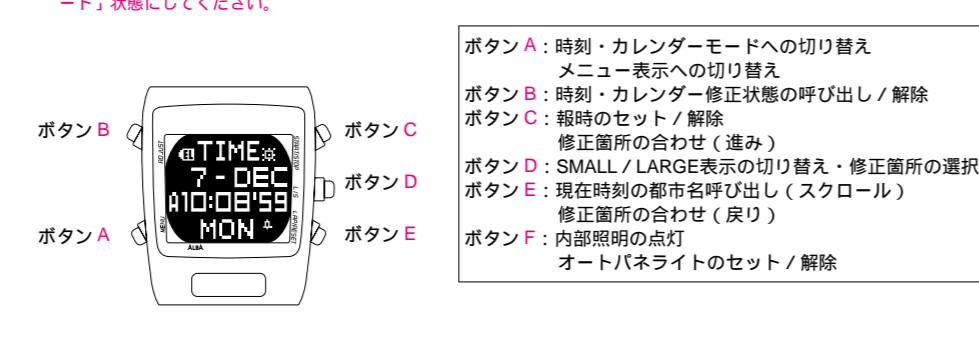
ボタンEを押してタイマーモード表示にしてください。

ボタンEを押してタイマーモード表示にしてください。

**ストップウォッチの使いかた**

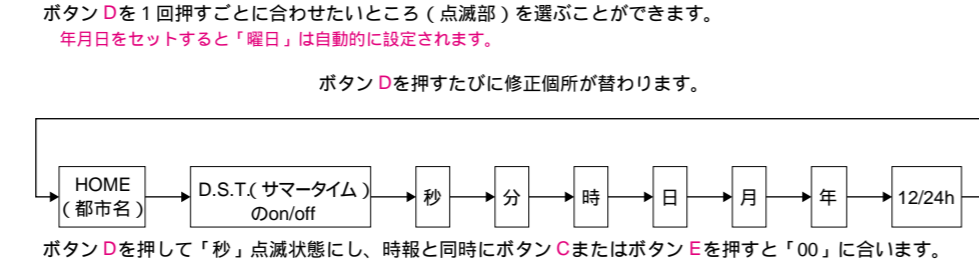
・1/100秒単位、最大計測時間は、9時間59分59秒99です。  
 ・ラップ回数は、199回まで表示し、ボタン無操作で100時間以上放置された場合は自動的にストップします。

(1) ボタンの名称とはたらき

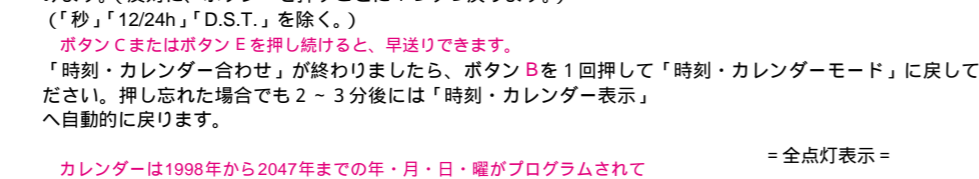


ボタンCを押して「ストップウォッチモード」にしてください。  
 ・他のモードになっている場合は、一度ボタンAを押して、メニュー表示にしてからボタンCを押して「ストップウォッチモード」状態にしてください。

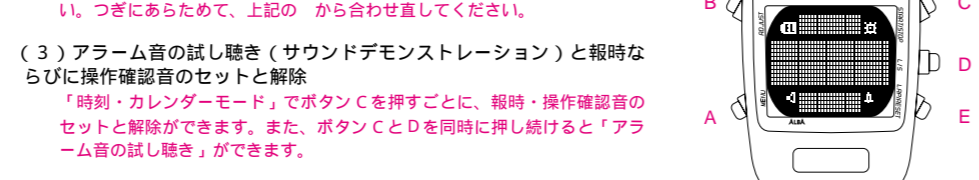
(1) 普通の使いかた  
 例：100メートル競争(ボタンを押す順序：C C E E)



スタート後「RUN」表示に切り替わります。  
 (2) 時間計測を積算でおこなう場合  
 例：バスケットボール(ボタンを押す順序：C C C... C E E)

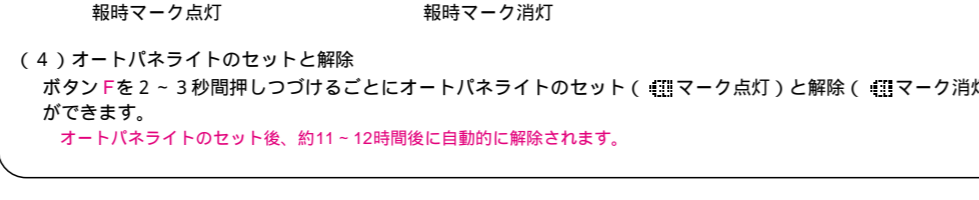


スタート後「RUN」表示に切り替わります。  
 途中のストップ・再スタートは、何回でも繰り返し返すことができます。  
 (3) ラップ計測とスプリット計測をおこなう場合  
 例：10,000メートル競争(ボタンを押す順序：C E E... C E E)

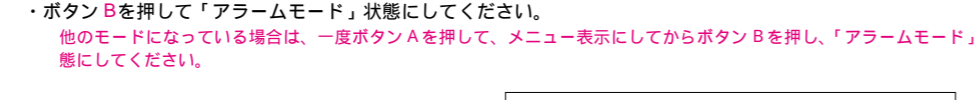


スタート後「RUN」表示に切り替わります。  
 ラップ/スプリット計測後、約10秒間表示をホールドし、ラップ回数が高くなります。その後自動的にストップウォッチ計測表示にもどります。ラップ回数は、次のラップ回数を表示します。  
 途中のラップは、何回でも繰り返し返すことができます。ラップ回数は、199回まで表示します。以降は200(表示：00) 201(表示：01) 202(表示：02) と順次表示します。  
 計測中に他の表示(モード)に切り替えても正常に作動していますが、計測していない場合は電池寿命が短くなりますので作動を停止させていただきます。

(4) リコールの使いかた  
 ・計測中、リセット状態のどちらでもメモリーの呼び出しができます。  
 ・計測後リセットしても新しく計測しない限り、メモリーは削除されません。  
 メモリーしているラップタイムのリコール(呼び出し)は、次の順序でおこないます。  
 例：リコール(呼び出し)状態(計測終了後)



ボタンA：メニュー表示への切り替え  
 ボタンB：アラームモードへの切り替え  
 ボタンC：アラーム時刻修正状態の呼び出し/解除  
 ボタンD：アラームのセット/解除  
 ボタンE：アラームチャンネルの選択  
 ボタンF：内部照明的点灯  
 オートバネライトのセット/解除



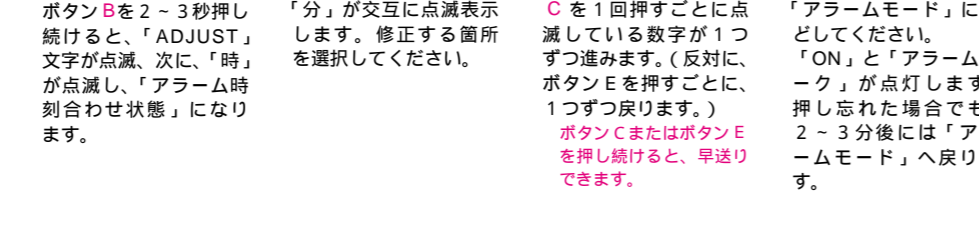
計測中は点滅

【計測を終了してからリコールする場合】  
 ・ボタンBを押してリコール表示にします。最初の[1]区間のラップタイムが表示されます。  
 【計測中にリコールする場合】  
 ・ボタンCを押してリコール表示にします。最新区間のラップタイムが表示されます。  
 ・ボタンEを1回押すと次のデータを選択できます。また、ボタンEを1回押すと前のデータが参照できます。  
 SMALL表示のときは、最下にはラップ数が表示されます。  
 LARGE表示のときは、スプリットタイムが表示され、スプリット数が表示されます。  
 測定結果がないときは「NO DATA」と表示されます。



ボタンA：メニューモードへの切り替え  
 ボタンB：リコール表示への切り替え  
 ボタンC：リコール区間の選択(進み)  
 ボタンD：SMALL/LARGE表示の切り替え  
 ボタンE：リコール区間の選択(戻り)  
 ボタンF：内部照明的点灯  
 オートバネライトのセット/解除

(1) ボタンの名称とはたらき

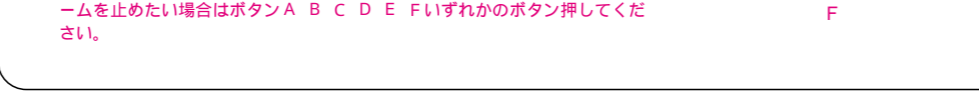


ボタンA：メニューモードへの切り替え  
 ボタンB：アラームモードへの切り替え  
 ボタンC：アラーム時刻修正状態の呼び出し/解除  
 ボタンD：アラームのセット/解除  
 ボタンE：アラームチャンネルの選択  
 ボタンF：内部照明的点灯  
 オートバネライトのセット/解除

(2) ワールドタイムの使いかた  
 ・ボタンCを押して「ワールドタイムモード」状態にしてください。  
 ・他のモードになっている場合は、一度ボタンAを押して、メニュー表示にしてからボタンEを押して、「ワールドタイムモード」状態にしてください。



例：東京が午前10時8分8秒のときロサンゼルスの日番書と現在時刻を調べる場合  
 現在時刻を確認します。 メニュー表示にします。 ボタンEを押して、「ワールドタイムモード」状態にします。 ボタンCを押してロサンゼルスを選択して都市名「ロサンゼルス」に合わせてください。

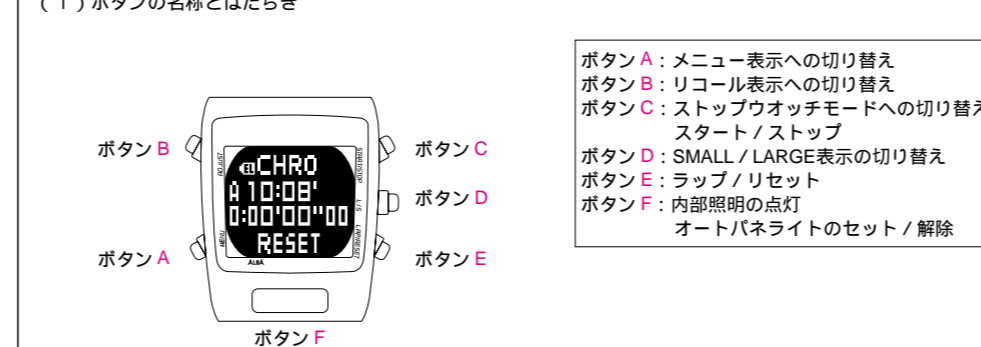


ボタンEを押してワールドタイムモード状態にしてください。

**ワールドタイムの使いかた**

・世界38都市の日番書と現在時刻を調べることも、LARGE表示でもSMALL表示と同様に右下段に世界の都市名が右から左へスクロール表示されます。

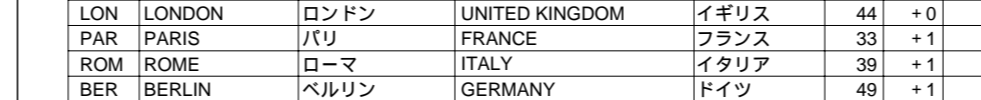
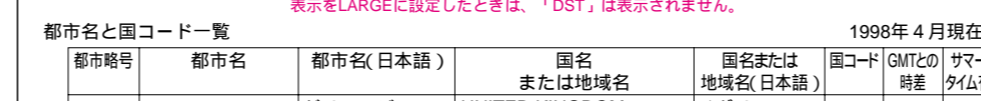
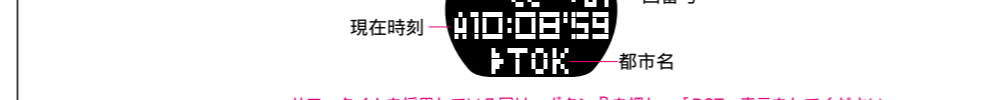
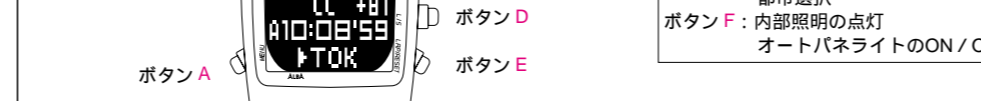
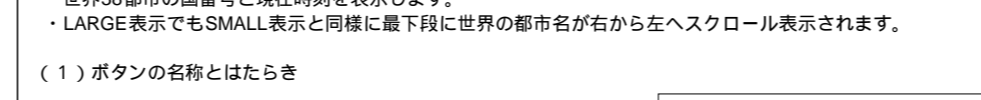
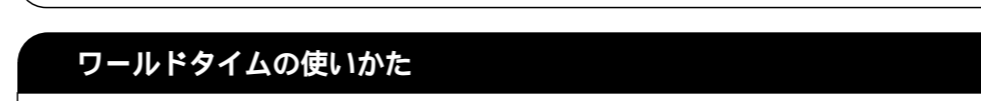
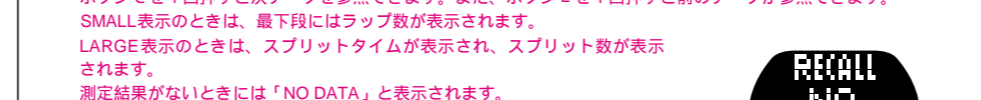
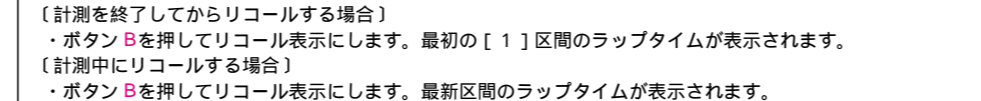
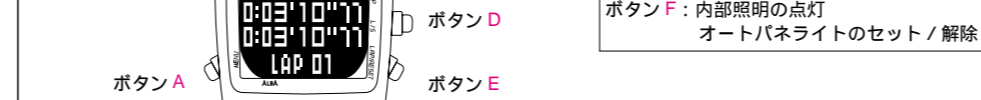
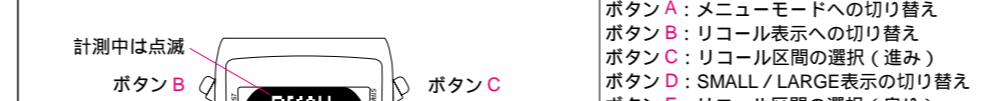
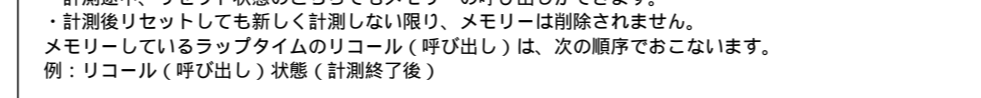
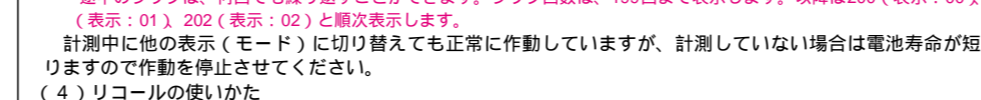
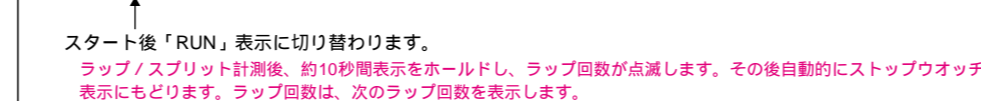
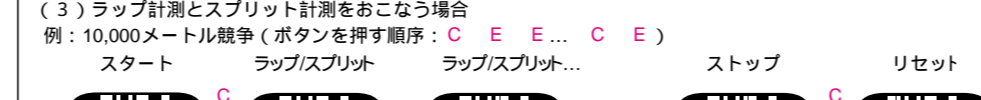
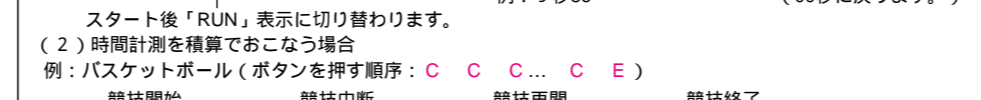
(1) ボタンの名称とはたらき



ボタンEを押して「ワールドタイムモード」状態にしてください。

(2) ワールドタイムの使いかた  
 ・ボタンCを押して「ワールドタイムモード」状態にしてください。  
 ・他のモードになっている場合は、一度ボタンAを押して、メニュー表示にしてからボタンEを押して、「ワールドタイムモード」状態にしてください。

(3) アラームを鳴らしたい場合、鳴らしたくない場合  
 「アラームモード」でボタンCを押すごとに「ON」と解除(OFF)ができます。  
 (アラームが鳴ります。) (アラームが鳴りません。)

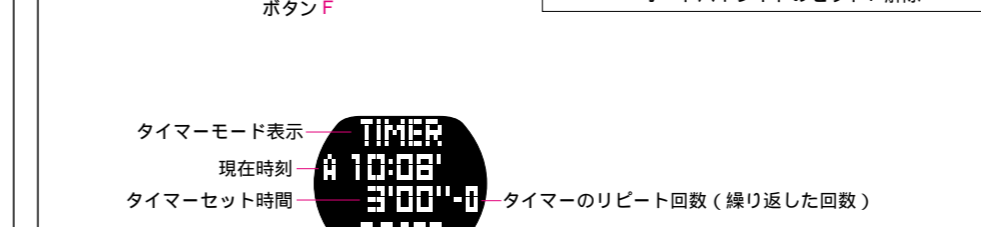
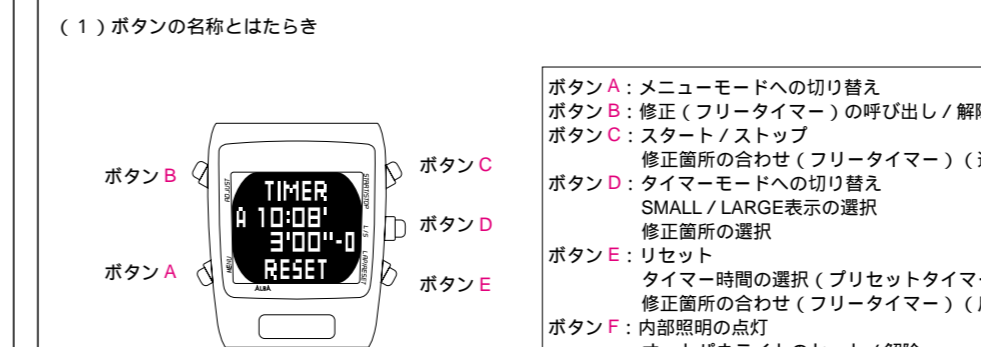


ボタンEを押してアラームモード状態にしてください。

**電池交換後のお願い(システムリセット)**

・電池交換後や万一異常な表示(読みない表示など)をした場合、以下の操作を行ってください。  
 時計内部のシステムがリセットされ、正常に機能するようにになります。  
 システムリセットのしかた  
 ・A B C E 4つのボタンを同時に2~3秒押し続けると「時刻・カレンダーモード」状態になり、表示が消え、ボタンを離すと、メニュー表示になります。ボタンを押すと「TIME 1-JAN A12:00:00 THU」の表示になります。  
 ご使用前に下記の順番に操作してください。  
 アラームの設定等 それぞれの項目を参照ください。

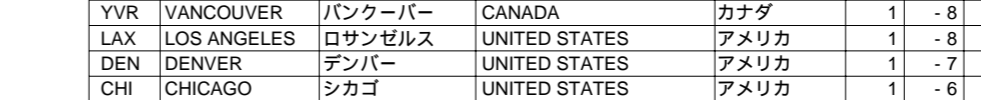
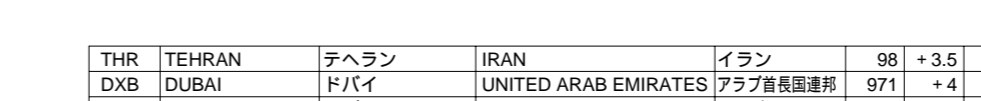
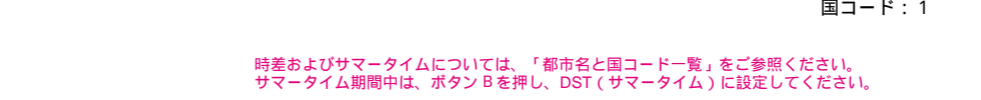
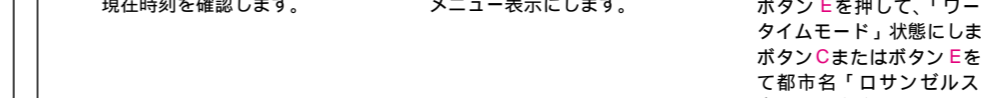
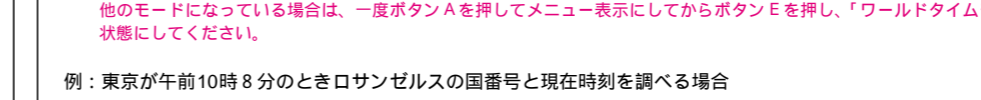
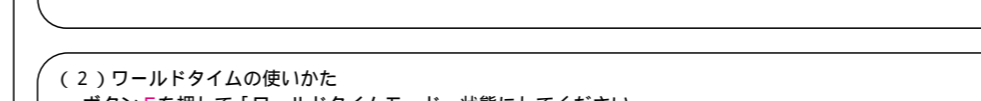
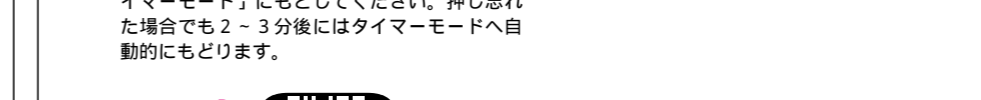
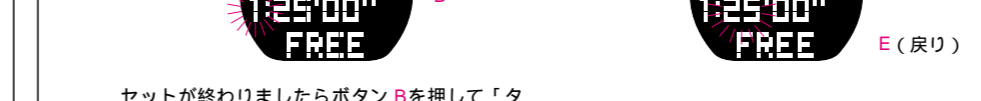
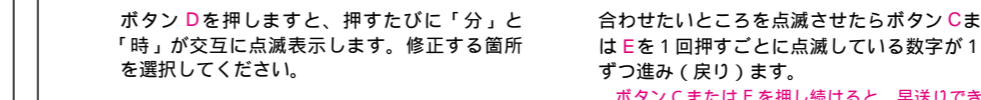
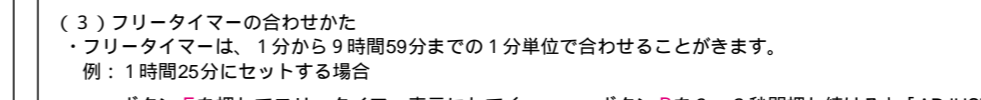
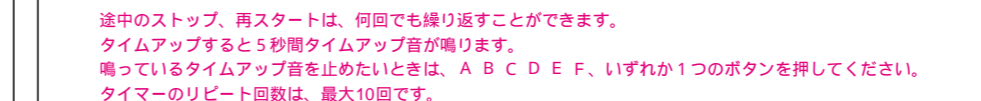
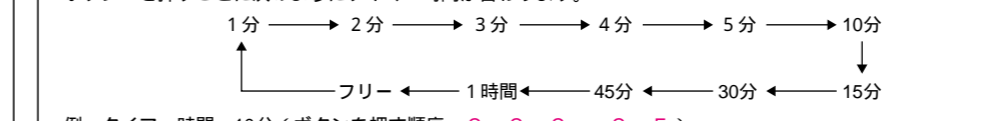
(1) ボタンの名称とはたらき



ボタンEを押して「ワールドタイムモード」状態にしてください。

(2) ワールドタイムの使いかた  
 ・ボタンCを押して「ワールドタイムモード」状態にしてください。  
 ・他のモードになっている場合は、一度ボタンAを押して、メニュー表示にしてからボタンEを押して、「ワールドタイムモード」状態にしてください。

例：東京が午前10時8分8秒のときロサンゼルスの日番書と現在時刻を調べる場合  
 現在時刻を確認します。 メニュー表示にします。 ボタンEを押して、「ワールドタイムモード」状態にします。 ボタンCを押してロサンゼルスを選択して都市名「ロサンゼルス」に合わせてください。



ボタンEを押してワールドタイムモード状態にしてください。

**ワールドタイムの使いかた**

・世界38都市の日番書と現在時刻を調べることも、LARGE表示でもSMALL表示と同様に右下段に世界の都市名が右から左へスクロール表示されます。

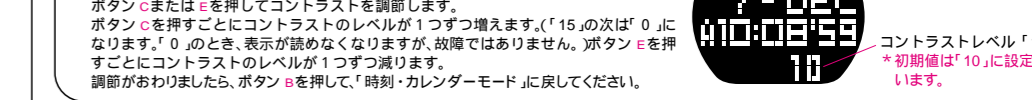
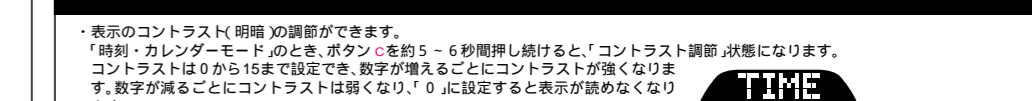
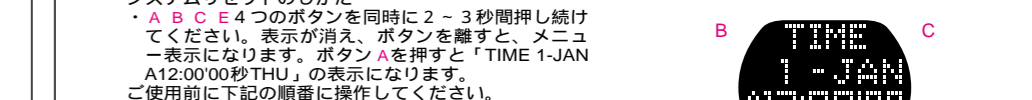
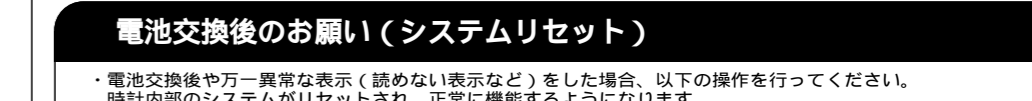
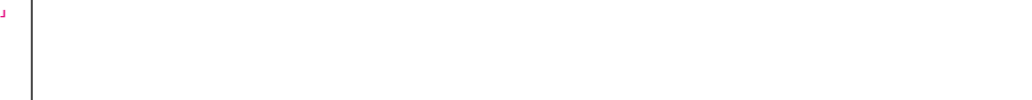
(1) ボタンの名称とはたらき



ボタンEを押して「ワールドタイムモード」状態にしてください。

(2) ワールドタイムの使いかた  
 ・ボタンCを押して「ワールドタイムモード」状態にしてください。  
 ・他のモードになっている場合は、一度ボタンAを押して、メニュー表示にしてからボタンEを押して、「ワールドタイムモード」状態にしてください。

例：東京が午前10時8分8秒のときロサンゼルスの日番書と現在時刻を調べる場合  
 現在時刻を確認します。 メニュー表示にします。 ボタンEを押して、「ワールドタイムモード」状態にします。 ボタンCを押してロサンゼルスを選択して都市名「ロサンゼルス」に合わせてください。



ボタンEを押してワールドタイムモード状態にしてください。

ボタンEを押してワールドタイムモード状態にしてください。